

「最高の思い出」 アルカージ日本語学校 坪井 理恵

私が日本で経験したこの夢のような一ヶ月間のJICA研修はかけがいのないからものになりました。私の兄さんも三年前にこのJICA研修に参加したのでいろいろと話をきいておりましたがこんなにすばらしいとはことばであらわすことができません。

一月四日、ブラジルから日本に行くためにひこうきにのって、私の最高の旅行がはじまりました。日本に行く前にサンパウロで研修生たちと初めてあいました。私ははずかしくて声をかけませんでした。その時、一人の研修生が声をかけてくれたので、すごく嬉しくなりました。そして、ずっと6時間も空港でひこうきをまっていました。研修生たちはまだまだはずかしがっていましたが、なんとなく話しかけていました。6時間たったときにひこうきにのりました。ひこうきの中でもう一人の研修生のとなりに座りました。彼女の名前は「さゆり」でした。いろんな話しをして楽しかったです。

窓がわに座りました。一番いい場所でした。なぜなら、いろんな景色を見ることができました。夜には空がすごく黒くてなにも見えませんでしたが、朝になると空は青、白と赤などの色がくみあわさってすてきに見えました。かけがえのないすてきな景色でした。その景色を見ながら日本へむかいました。

ひこうきの中では12時間ずっといて疲れてしまいました。

日本についたとき、心がどきどきしていました。たまらないほど嬉しかったです。映画のワンシーンのようでした。思っていたばい（倍）の寒さでした。空港からJICAの建物までバスで行きました。研修生たちと面白がって歌いました。すごく楽しかったです。

JICA横浜の建物についてすぐに部屋番号といっしょに一ヶ月ぐらい暮らす二人の名前をおぼえました。一人はボリビアからきた「なみえちゃん」、もう一人はペルーからきた「なおみ」です。二人とも、ものすごく明るくて、すごくいい人たちで私たち三人はとても仲良くなりました。私は研修が始まったときこまりました。なぜかというとあまり友だちがいなかつたのです。だけれどいきなりみんなと友だちになれたのです。

研修の中でアクティビティーがありました。たとえばプロジェクトアドベンチャーがありました。体育館でいろいろなパズルゲームをしました。エース先生はみんなの名前をおぼえるためにメモリゲームをしました。そして、楽しくみんなの名前をおぼえることができました。その日からもっともっと研修生たちと友だちになっていました。それから終日その友だちとでかけていました。研修生たちは少しずつ分かり始めました。私が思っていた人たちとはぜんぜんちがっていて嬉しかったです。仲良くする人はできないと思っていましたが、その考えはまちがっていました。

毎朝、早くおきて食事をして、朝の会がはじまりました。みんなねむそうなかおをして、じゅぎょうに参加しました。でも、じゅぎょううちゅうに話したり、わらったりして楽しくなりました。

じゅぎょうのあとは、体育館に行ってバトミントンとバレーボールをやっていました。初めてならった人もいましたがすぐにおぼえたのにはおどろきました。

1月19日、日本の中学校に三日間参加しました。いろんな勉強をしながら、ブラジルと日本の中学校のちがいがすぐにわかりました。たとえば教室のそうじをしたり、体育館に入る前に運動ぐつをはいたりしなければなりませんでした。

1月25日、新横浜駅から研修旅行にでかけました。窓の外をみたら富士山が見えてすばらしい景色でした。米原駅について初めて雪を見て夢のようでした。雪とあそんでいると先生もあそびはじめました。彦根城にたどりつくには、とても険しいところをのぼることが必要でした。そして長いかいだんをのぼりはじめたとき、雪があつて氷になっていて、すべったりしました。私は二人の友だちといっしょ

に手をつないでとっぱしました。かいだんをとっぱしたしゅんかん、とてもすてきな景色がみえました。私がその景色を見ていたしゅんかんにあきらちゃんといいらさんがいきなり雪玉を私に投げつけました。私はおこりやすいタイプですから、私も雪玉つくってつよくなげました。すると研修生みんなもおなじことをしていました。みんな大きな笑顔をして子どもみたいにうれしそうでした。周りにある全てをわすれて、みんなといっしょにあそんで楽しかったです。

毎日、みんなのこともわかってきて、友だちといっしょのときは悲しくありませんでした。

別れの日が近づいて、私はどうしていいかわからなくなりました。短いあいだでしたが、この一ヶ月間にできた友だちは最高でした。ずっとわすれられない思い出になりました。

私は心から JICA にかんしゃしています。この一ヶ月間おせわになって本当にありがとうございました。